

●第45回小笠原親善訪問 (東京都小笠原村) 山下 巧

6月25日(木)～6月30日(火)

年に1度の八丈島寄港便で町の訪問団長ほか八丈島から約160名が乗船。

翌朝船上にて青龍丸戦没者の追悼式で献花、戦没者の冥福を祈る。

父島に到着し、二見港船客待合室にて八丈町訪問団歓迎交流会に参加しました。その後、父島返還を記念するイベント会場では八丈太鼓、南洋おどりの出演、翌朝母島にわたり島内視察後、母島返還祭会場で盆踊り交流会の参加。

小笠原観光は主に海洋レジャーに依存し、釣りダイビングのほか、ボート・ヨットハーバーの係留施設が整っており、両島で200艇以上はある。

漁船は魚種、輸送の関係で漁獲量は少ない、小笠原人口の約65%が公務員であることにこの島の存在と歴史を考えさせる